

実態		<ul style="list-style-type: none"> ・ 休み時間には、みんな遊びなど外で活発に遊ぶ児童が多い。<u>しかし、特定のグループで遊ぶ姿も見られる。</u> ・ <u>当番活動や係活動に積極的に取り組んでいる。</u> ・ <u>行事など与えられた役割を取り組み、責任感が高まる児童が増えてきた。</u>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字学習では、丁寧に書く児童とそうでない児童の差が大きい。また、わからない問題に対して諦めてしまう児童がでてきている。 ・ 進んで意見を発表する児童とそうでない児童の差が大きい。また、友だちの意見に対する付け足しや反対意見などのやり取りは少ない。 ・ <u>自分の思いや考えを自分なりの言葉で表現することが苦手な児童が多い。</u> ・ 昨年度の学びの診断の結果から、前日の準備不足の児童がいる。また、「学びを律する力」の項目は低かった。 ・ <u>宿題や提出物、分度器やマイネームペンなどの必要な道具がそろっていない児童がいる。</u>
教科学力		<ul style="list-style-type: none"> ・ ペア・グループ・全体での話し合いを各教科で行っていく。<u>また、自分の考えを前</u> <u>に出て説明する機会を設ける。</u> ・ 朝の学習の時間には、漢字や計算の学習を行い、学びの基礎を養う。 ・ 少人数指導では、單元ごとに児童の習熟度に応じてクラス分けを行っていく。 ・ <u>友だちの意見に対してハンドサインやうなずきなどの反応をするよう促す。</u>
学びの基礎力	重点指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 五箇東スタンダードを定着できるよう継続して指導する。(特に、丁寧に文字を書くこと・授業開始時刻を守ること、話し方・聞き方など。) ・ 東っ子健康カード等を活用し、生活習慣を振り返り、前日の準備(学習に必要なもの)を自分でできるよう指導していく。 ・ 東っ子のノートの使い方をもとに、わかりやすい(自分なりの)ノートの指導をする。 ・ 毎週水曜日に朝の読書活動を行い、<u>読書習慣を身につけていく。</u>
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音読(週末は20分間読書)・漢字学習・計算学習を、ほぼ毎日出し、家庭学習の基礎を養う。また、前学年の単元の復習プリントを活用することで理解の定着を図る。 ・ 自主学習ノートを活用し、予習や復習、調べ学習、日記、など自分で課題を選び、学習することができるよう指導する。
社会的実践力		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年目標「挑戦」を様々な場面で意識させ、一人ひとりが目的を持って取り組み、互いを高め合える集団作りを行っていく。 ・ 仲間づくり(みんな遊びなどの活動を通してお互いが認め合える集団作り)を推進する。 ・ 行事に合わせて実行委員を決め、主体的に活動していけるように指導していく。 <u>臨海学校や連合音楽会などを通して、主体性や責任感、集団で行動する力を育む。</u>

※1 学期から変更・付け加えた部分には下線を引いています。